

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【公表番号】特表 2011-509338 (P2011-509338A)
 【公表日】平成 23 年 3 月 24 日 (2011.3.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-012
 【出願番号】特願 2010-542301 (P2010-542301)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

C 0 9 J 183/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 183/04

C 0 9 J 183/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 27 日 (2011.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

延伸剥離性接着剤フィルムであって、

シリコーン感圧性接着剤組成物と、

粘着性タブと、を含み、

前記感圧性接着剤組成物が、尿素系シリコーン共重合体、オキサミド系シリコーン共重合体、アミド系シリコーン共重合体、ウレタン系シリコーン共重合体、ポリジオルガノシロキサンポリマー、及びこれらの混合物からなる群から選択されるエラストマーのシリコーンポリマーを含む、延伸剥離性接着剤フィルム。

【請求項 2】

アセンブリを取り外し可能に結合するための方法であって、

第 1 の基材を提供する工程と、

延伸剥離性接着剤フィルムを、前記基材の表面の少なくとも一部分に配置する工程であって、前記延伸剥離性感圧接着剤フィルムが、

シリコーン感圧性接着剤組成物と、

粘着性タブと、を含む、工程と、

第 2 の基材が、前記延伸剥離性感圧性接着剤を介して第 1 の基材に結合し、前記粘着性タブが、ユーザーによる把持のために利用可能であるように、前記第 2 の基材を前記延伸剥離性感圧性接着剤に接触させる工程と、を含む、方法。

【請求項 3】

アセンブリであって、

第 1 の基材と、

第 2 の基材と、

前記第 1 の基材と前記第 2 の基材との間に配置された延伸剥離性感圧性接着剤と、

を含み、前記延伸剥離性感圧性接着剤が、

シリコーン感圧性接着剤組成物と、

粘着性タブと、
を含む、アセンブリ。